

平成15年に文部科学省の知的財産経営戦略本部整備事業に採択を受け、この上で平成16年に山梨大学と(株)山梨ティーエルオーとは包括的業務委託契約を締結いたしました。この委託業務の中には、特許の早期開示や移転営業以外にも、社会人教育やセミナー開催など広く行われました。

これらを引き継いだ、旧地域連携室では、技術説明による技術移転業務のほか様々なイベント等の取り組みをしてきておりましたが、本年度も多くを引き継いでおります。

昨年度担当させていただいておりました職員も含めて2名が退職となり、その後任の着任が遅れておりました。この7月16日に1名が着任致しまして、この間本年度の準備が遅れてしまいました。申し訳ございません。

また、些細ではありますが、本学産学連携部門の組織変更もございました。

昨年度までは、地域・企業との連携を推進する地域連携室と、企業様との共同発明を含めた知的財産を扱う知的財産戦略室との2室体制でありましたところ、人材育成戦略と業務の効率化を目指して統合して、社会連携・知財管理センターとなりました。

機構名も、産学官連携・研究推進機構から社会連携・研究支援機構となり、2室は社会連携・知財管理センターとなりました。本年度センター長は旧知的財産戦略室の室長であった筒井准教授が担当しております。

この機構には平成24年11月よりもう一つのセンターがございまして、融合研究臨床応用推進センターです。名称でお分かりかと思いますが、特に医学・工学・生命学の融合領域研究の推進と、病院を中心とした臨床研究の推進とを目的としております。センター長は岩崎甫教授が担当しております。

この融合研究臨床応用推進センターは医学部キャンパス(玉穂)に位置しますが、この度4階建ての建物が7月に病院敷地内で竣工いたしまして、1階と3階を当センターが、2階をデータセンターとして、4階を研修スペースとして準備しております。

機構名が社会連携に改称したことは、これからの大学の立ち位置や社会事情を鑑みたときに、現実社会だけではなくネット上の仮想社会や産学官以外の金融やメディアなど、さまざまな多連携へ進むものとの伏線がございます。

以上長文となりました事を陳謝するとともに、お読み頂けましたことに感謝いたします。

□ ■

■01: 新技術情報クラブ会員登録の年度更新お礼

日頃から産学官連携事業の推進につきましてご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本メールマガジンを配布させていただきました会員様には、本年度もご継続・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本新技術情報クラブは、大学が保有する特許出願をしたシーズを中心に研究者の持つ専門性をご紹介する中で、共同研究などに進めて大学のご利用をプロモートする活動しております。

しかしながら、多くのケースでは大学の特許出願を直接利用できることはごくまれで、この内容をきっかけとして企業様がお持ちの技術とコラボレーションしながら、新たな商品開発を行うことが一つの目的となってきました。

しかしながらこれにとどまらず、大学としても新たな成果が創生されることで、ブランド向上につながれば大変有り難いと考えております。

地域貢献と大学ブランド力とは両輪のように進むものと信じております。

皆様のお声を聴きながら、どのように大学を紹介してご協力していこうかと日夜検討しております。

ぜひ、忌憚ないご意見等いただけますと幸甚です。

よろしく申し上げます。



■02: イベント情報

【開催予定イベント】

★アカデミックサロン・ソフトウェア

◇日時：平成 26 年 8 月 6 日（水） 16：00～

◇会場：山梨大学 工学部 A-3 5F 会議室（エレベータ出口、左前の会議室）

この「アカデミックサロン」はAサロンと省略しまして、皆様のご希望をお伺いしながら「研究者を囲んで意見・情報の交換をする場」であります。

2部構成で、研究者の話聞く第1部はコーヒー・紅茶などソフトドリンクのご注文をいただだけで参加できます。

第2部では、気軽に大学研究者と懇談することを目的として、特に食事をともにしながら交流しようとするものです。

(懇親会費が必要です)

カテゴリーを「ソフトウェア」「ものづくり」「アグリバイオ」の3つに仮決めしてスタートいたします。

未だ始めたばかりで試行錯誤の状況ではありますが、本学卒業の有志にお力添えをいただきながら企画いたしました。

カテゴリーごとに（できれば）月々開催出来たらと考えております。

参加ご希望の方は、私還田までご連絡ください。

tel 055-220-8758

e.mail tkanda@yamanashi.ac.jp

【出展予定イベント】

★イノベーション・ジャパン 2014 - 大学見本市（予告）

◇日時：平成26年9月11日（木）～12日（金）

◇会場：東京ビッグサイト

<http://www.jst.go.jp/tt/fair/>

本学の特許シーズとしましては、次の2件が発表されます。

●生命工学科 新森先生（特願 2014-030436）

本シーズでは最近のナノ材料として注目されている異方性な金ナノロッドを用いて、その情報高度化のためのキラル配列制御と生体分子に対するセンサー素子としての利用を目的とした。使用した金ナノロッドコロイド分散溶液は seed 成長法を用いて調製した。このコロイド分散液に種々のタンパク質を添加したところ、血清タンパク質の場合において金ナ

ノロッド由来の吸収帯が短波長シフトすることが観測された。また、CD スペクトル測定を行った結果、これらのタンパク質添加時のみ CD 活性であることが確認できた。これらの結果より特定のタンパク質との相互作用によってキラルな side-by-side 組織体が形成されることが示唆された。従って金ナノロッドを用いることで選択的タンパク質検知が可能であることが明らかとなった。

●機械工学科 船谷先生（特願 2013-135760）

気流の速度分布を可視化計測する 3 次元 PIV 計測法の一つである。シフト配置した 2 色のレーザービームを 3 次元スキャンし、ビームの軌跡が可視化された画像を得て、これを 3 次元構成することで、3 次元速度分布を計測する手法を開発した。

特に、民生用デジタル一眼レフカメラの使用が可能であり、設備費を 2 次元 PIV 法と同程度に抑えられること、レーザーสキャンの方法をサインカーブ状にすることで、高速流（30m/s 程度）に対しても適用できることが特徴である。

また、極細熱電対による温度分布計測との併用により、実運転条件での冷暖房出力、COP のリアルタイム計測が可能である。

詳細内容を事前にご希望の方につきましては、新技術情報クラブ会員様には早期開示の特典もございますので、お気軽にお問い合わせください。



■03: イチオシ!! 公募情報

公募に関する応募等のご相談がございましたら、ぜひご連絡ください。

内容によりましては、大学研究者とともに申請する方が有利・もしくは必須になる場合があります。

● 経営サポート「ものづくり中小企業支援」

★中小企業対象★

【支援の目的】

ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取り組みにチャレンジ

する中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス

開発、設備投資等を支援します。

【申請の要件】

【研究開発の総額】

1. 成長分野型

- ・補助上限額：1,500万円
- ・補助率：2/3
- ・設備投資が必要

2. 一般型

- ・補助上限額：1,000万円
- ・補助率：2/3
- ・設備投資が必要

3. 小規模事業者型

- ・補助上限額：700万円
- ・補助率：2/3
- ・設備投資は不可

【公募期間】平成26年7月1日（火）～平成26年8月11日（月）〔当日消印有効〕

【詳細】

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono>

をご覧ください。

特に中小企業の産業基盤を許可することを目的としていることから、事業化可能性と経済効果が重視されます。

平成 25 年度 研究成果最適展開支援プログラム A-S T E P

フィージビリティスタディ【F S】ステージ

シーズ探索タイプ

シーズ顕在化タイプ

【支援の目的】

産業界の視点から見出された、大学等の研究成果に潜在しているシーズ候補について、産学共同で企業ニーズにつながるシーズとなる可能性の有無を検証する。

【申請の要件】 大学等の研究者と企業の共同申請（探索型は大学研究者のみで申請可能）

【研究開発の総額】 シーズ探索タイプ ： 基準額 170 万円 、シーズ顕在化タイプ ： 基準額 800 万円

【公募期間】 平成 26 年 6 月 29 日～8 月 29 日

【詳細】 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

本学研究者のシーズにご関心があつて、今後内容を試してみたいとお考えの企業様には、ぜひお問い合わせいただければと存じます。

●平成 26 年度戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）提案募集

■平成 26 年度新規研究開発領域「持続可能な多世代共創社会のデザイン」が、7 月 7 日から提案募集を開始しました。

【支援の目的】

- 人が孤立化せず出かけたくなる空間の拡大
- 多世代・多様な人々の能力を生かした就労・社会参画の促進
- 人・地域・環境の相互作用を生み出すライフスタイル・行動変容の促進
- 有効活用されていない地域資源の発掘と活用
- 環境と調和した地域の資源・経済の循環

○ 公的サービスの質を落とさず低コスト化、効率化、リデザイン

【申請の要件】 大学等の研究者（と企業の共同）申請

【研究開発の総額】 数100万円～3,000万円未満/年（原則として3年間）

【募集期間】 平成26年7月7日（月）～平成26年9月1日（月）午前12時（正午）

※プロジェクト企画調査：研究開発プロジェクトとしての提案のうち、構想として優れてはいるものの実施するためにはさらなる具体化が必要なものについては、半年間（初年度は約4ヶ月）の企画調査として採択することを検討します。

詳しくは、

<http://www.ristex.jp/examin/suggestion.html>

をご覧ください。



■04:プレス情報



鍵山助教が平成25年度研究奨励賞・阪本研究刊行助成賞並びに阿部賞を受賞



平成26年6月24日（火）～26日（木）、第53回日本生体医工学会大会が仙台国際センターにおいて開催され、鍵山善之助教が平成25年度研究奨励賞・阪本研究刊行助成賞並びに阿部賞を受賞しました。

同賞は、前年の定期大会（35th Annual Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society—第52回日本生体医工学会大会併催/平成25年大阪）において発表された論文の中から、生体医工学領域の発展に貢献する優秀な研究論文を発表したと認められた者に対して授与されるもので、今回は正会員によって推薦された30名の候

補者の中から 5 名が選ばれました。

発表タイトルは、“Optimization of Surgical Planning of Total Hip Arthroplasty Based on Computational Anatomy”（計算解剖学に基づく人工股関節手術計画の最適化）（鍵山善之、高尾正樹、菅野伸彦、多田幸生、富山憲幸、佐藤嘉伸）です。これは、専門医による外科手術計画を学習し、その傾向に沿う手術計画を新規患者に対して自動立案・最適化するためのもので、複数のインプラントからなる人工股関節手術計画において、専門医の方針に沿うバランスの取れた計画を自動立案することができました。今回の発表は、生体医工学領域の発展に貢献する優秀な論文と認められたため、受賞となりました。

受賞した鍵山助教は「このような名誉な賞を賜りまして、大変光栄に思います。今後も生体医工学領域の発展に貢献できるよう、手術の高精度化や専門医の負担軽減に繋がる計算機支援手法の研究開発に邁進してまいりたく思います。」と述べています。



■05:技術シーズが紹介されています!!

やまなし技術の宝石箱

http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo-shien/techno-jewel-box/seeds/2010_01.html

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便！

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>



この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、優先面談も可能ですので是非ご一報ください。

また、内容によりましては、当該研究者とコーディネータが貴社を訪問しお打ち合わせさせていただきます。



■06:特許出願情報

TEL : 055-220-8758

FAX : 055-220-8757

e-mail renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。